

ウツロイの学び舎

本日のテーマ 『自律神経』

セラピストになったは良いけど。。。。

勉強した内容を活かさきれてない？
勉強したいけど学ぶ場がない
国家資格を持っていないし
知識面に不安を感じる

そんなセラピストの為の配信

人の身体の仕組みを知る
どうなっているのか？
なぜ、その症状が起きているのか？

これが分かれば
愉しくなる！



自律神経

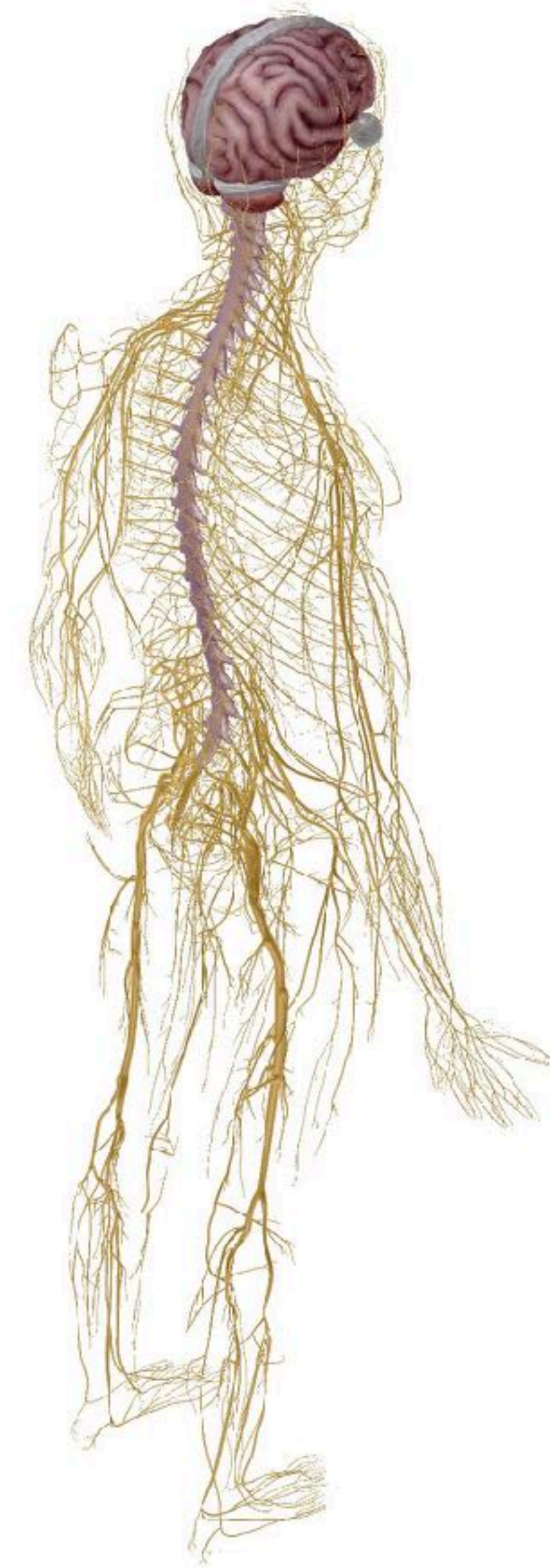
自律神経は、血圧や脈拍、呼吸、内臓機能など生命維持に必要な機能を制御しています。

意識的な制御をせずとも、自動的（自律的）に機能する末梢神経のひとつである。

副交感神経と交感神経の相反する機能を持つ二種類で構成される。

自律神経は実質的な構造物

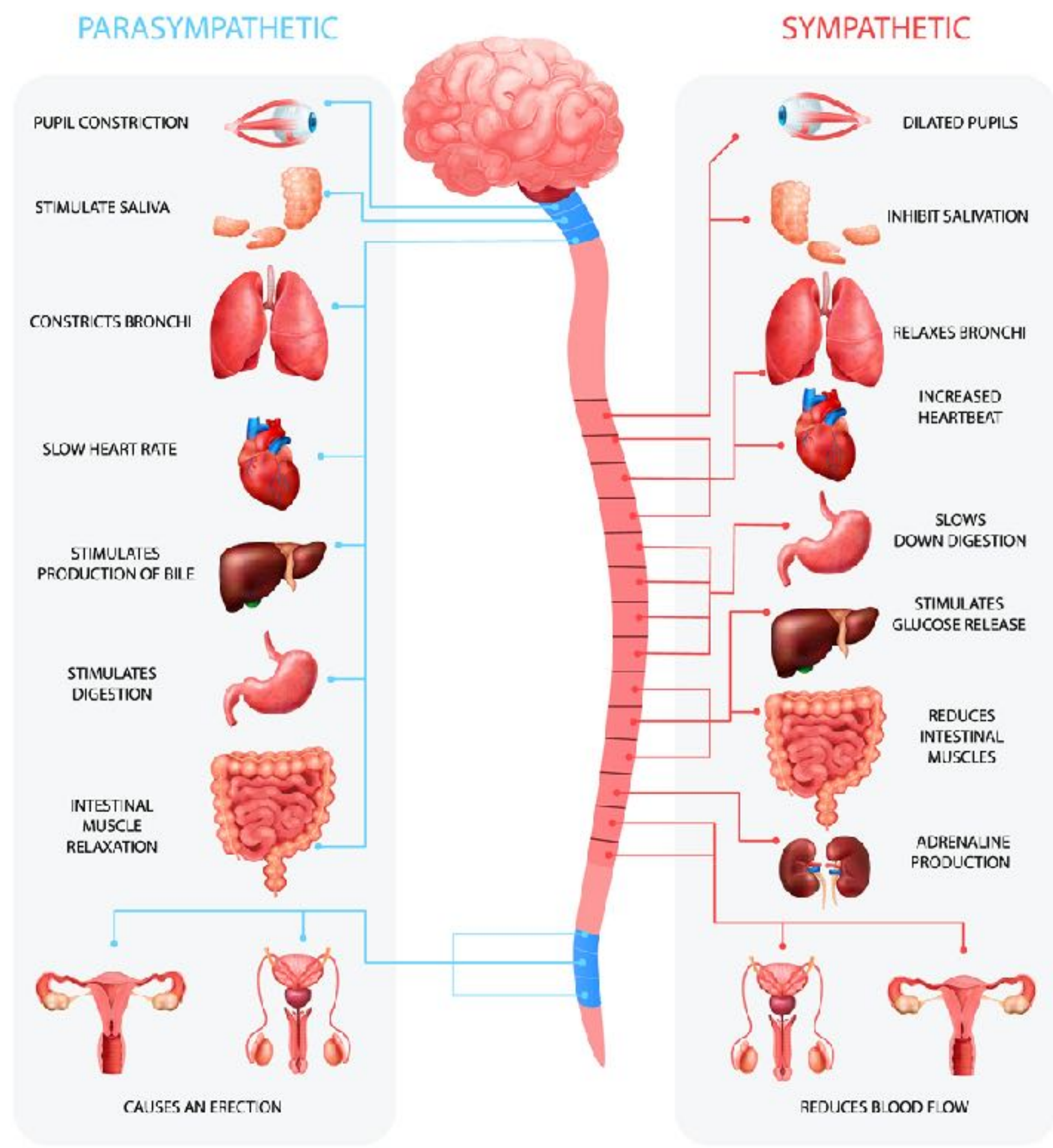
自律神経は、目に見えない機能としてだけあるのではなく神経繊維として実質的に存在する末梢神経である。



副交感神経

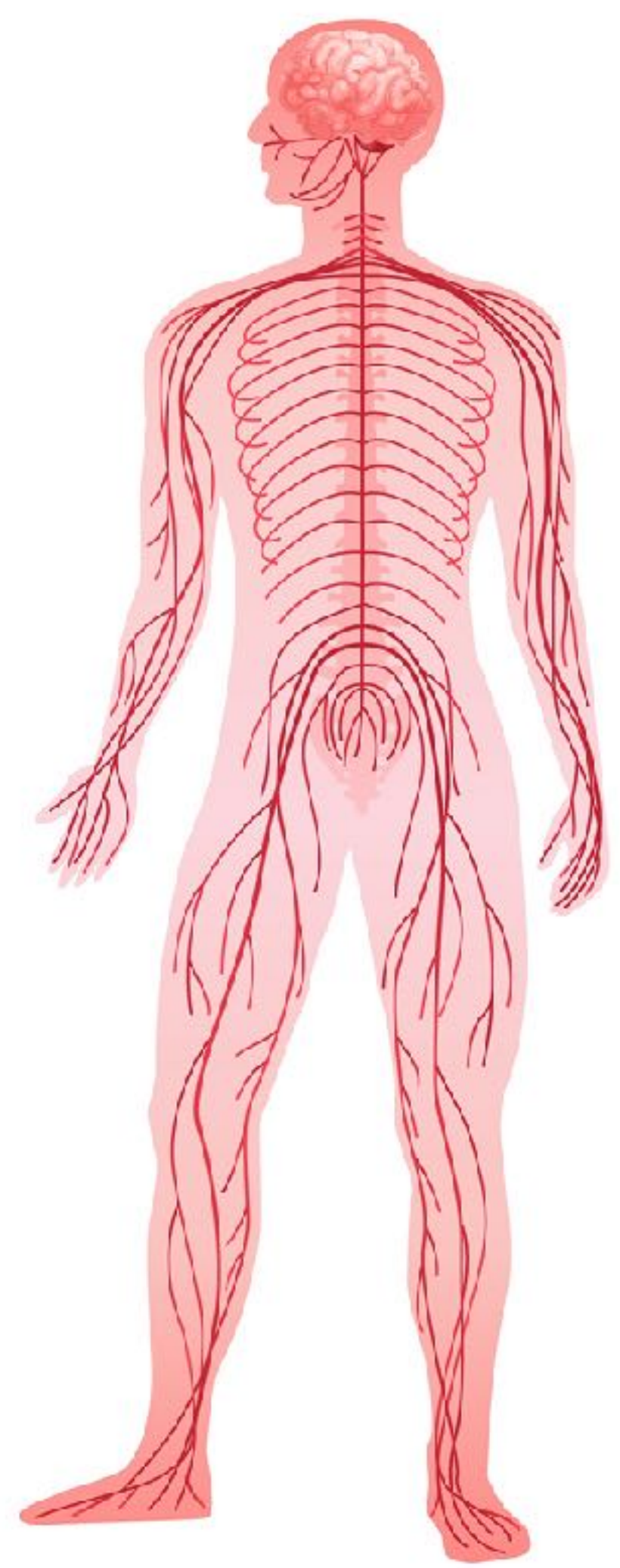
- 脳血管収縮
- 瞳孔縮孔
- 唾液増大
- 心拍数安定
- 呼吸優先
- 気道収縮
- 内臓機能亢進
- 消化を促す
- 胆汁放出
- 排尿を促す

HUMAN NERVOUS SYSTEM



交感神経

- 脳血管拡張
- 瞳孔散大
- 唾液減少
- 心拍数亢進
- 呼吸優先
- 気道弛緩
- 血管収縮
- ブドウ糖放出
- 消化器抑制
- 排尿抑制



画像著作者：macrovector / 出典：Freepik

自律神経は実質的な構造物

自律神経は、目に見えない機能としてだけあるのではなく、神経繊維として実質的に存在する末梢神経である。

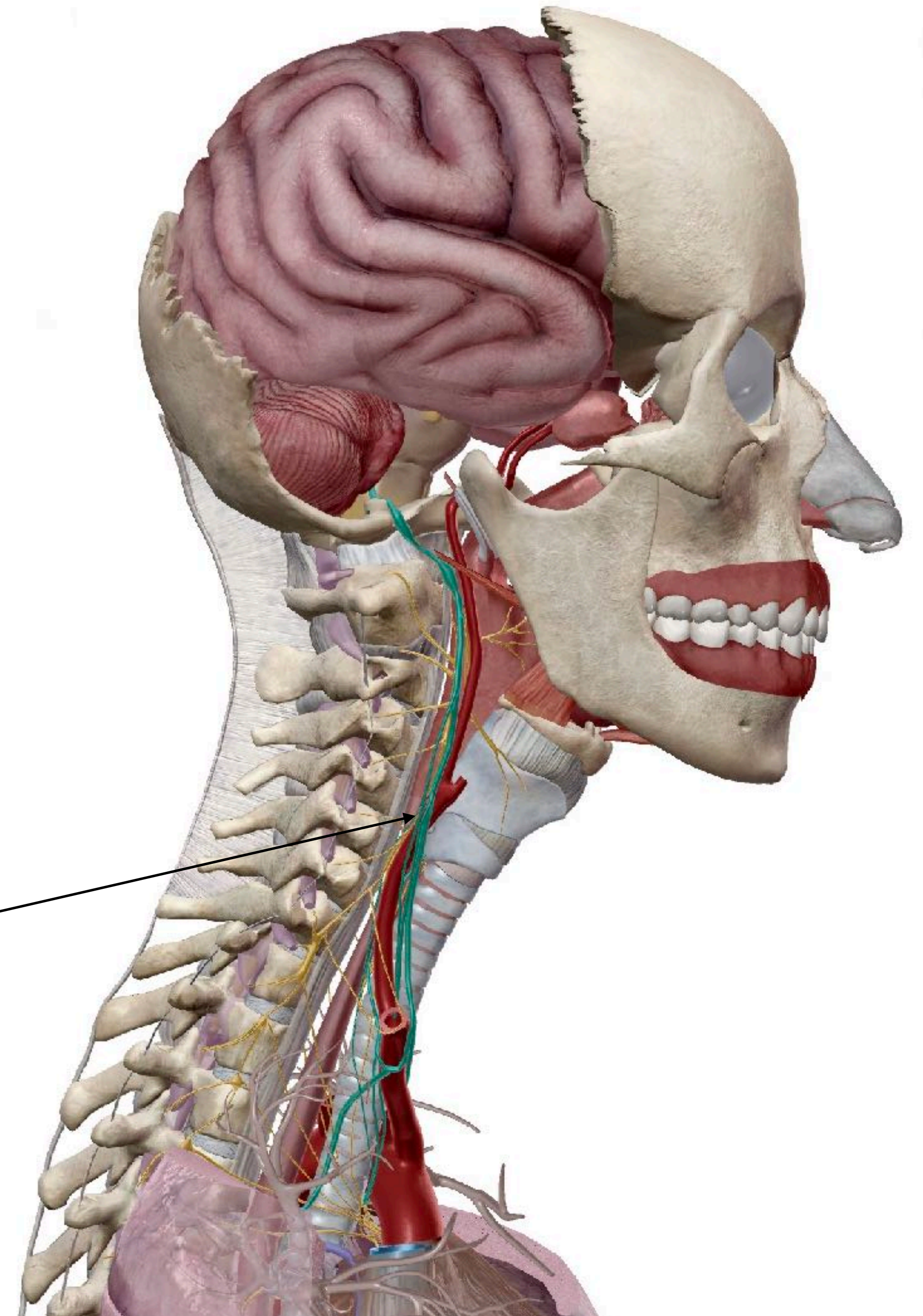
その為、構造物の圧迫などは自律神経機能の阻害、悪影響につながる。

頭蓋骨（脳神経節）

脊柱（頸椎、胸椎、腰椎、仙骨） など

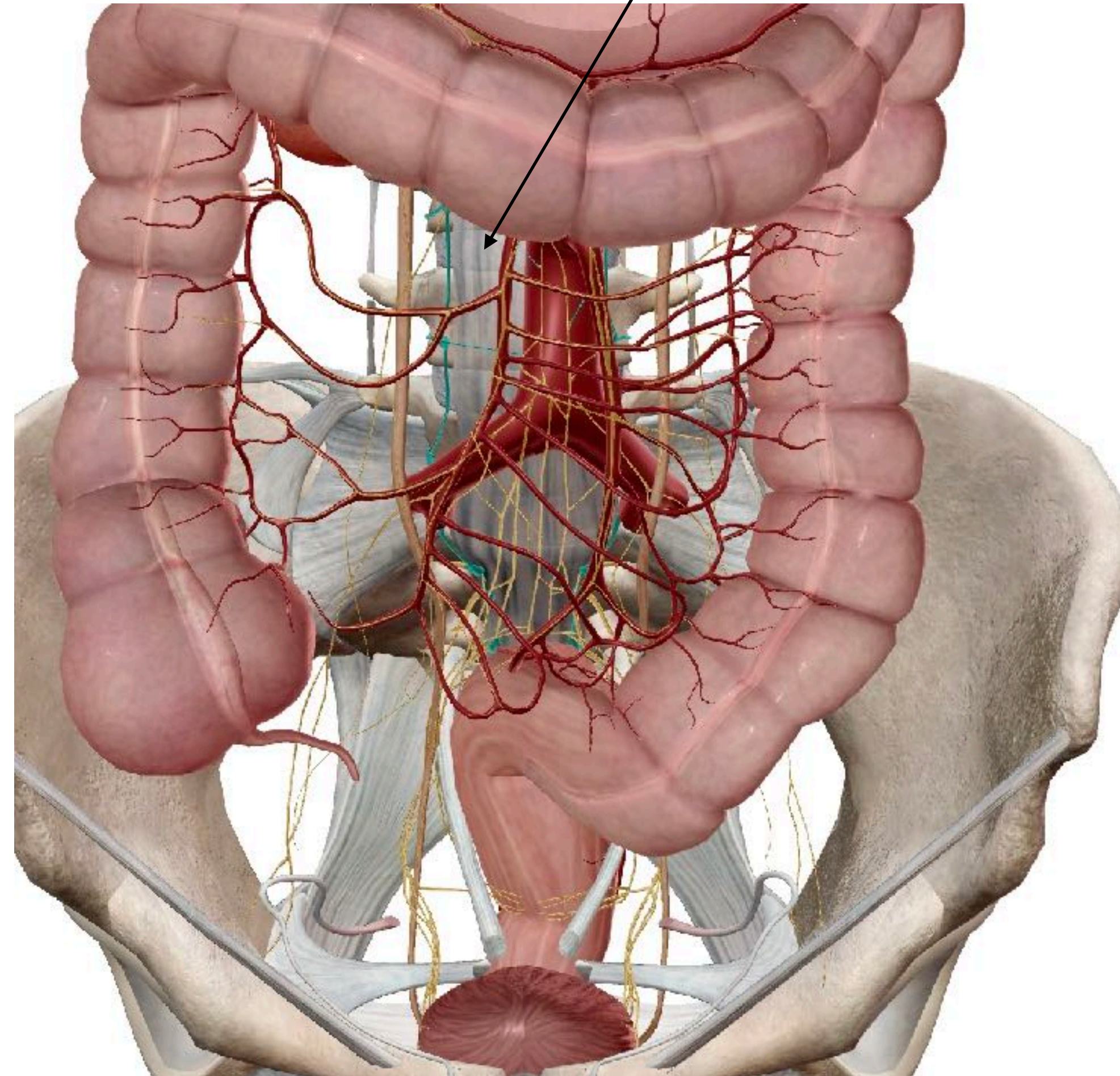
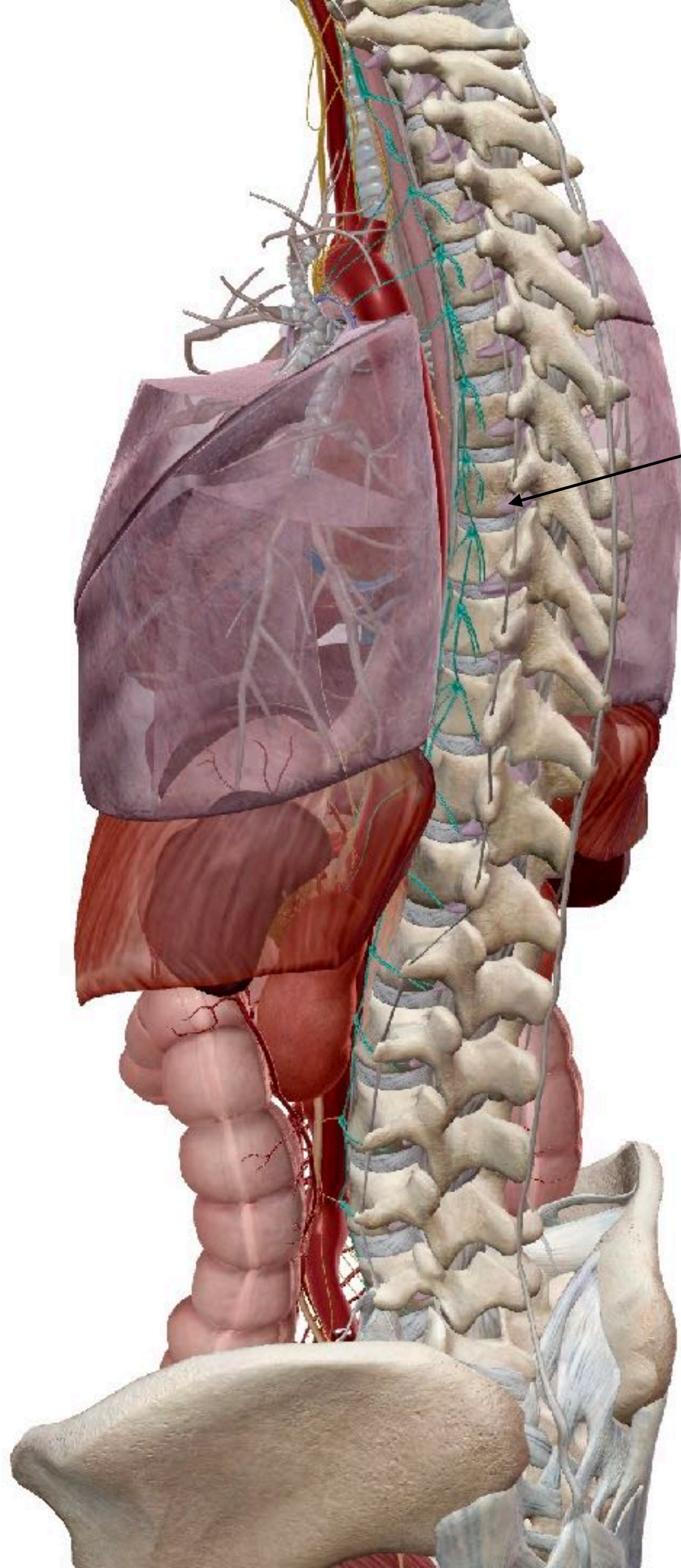
副交感神経

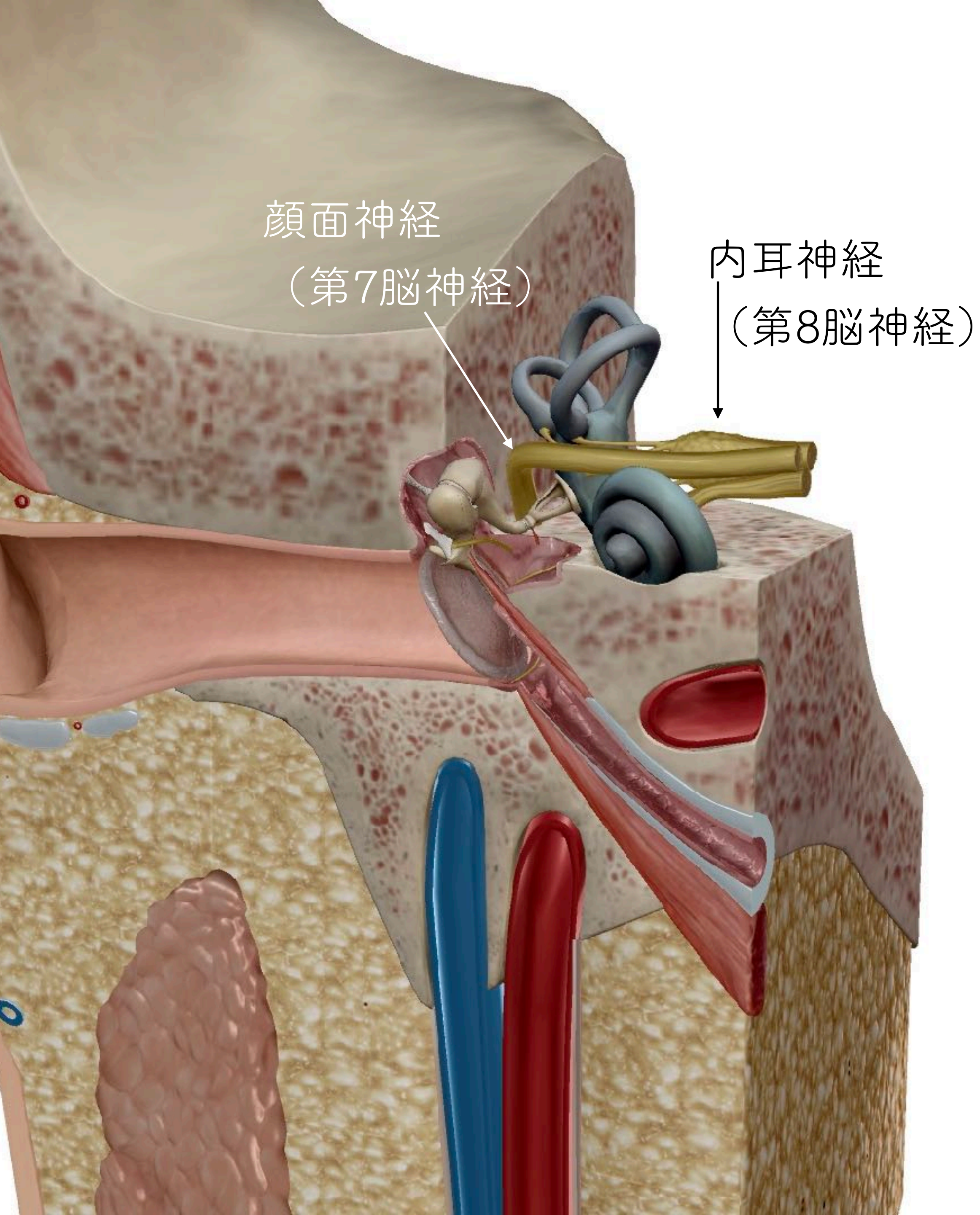
迷走神経（第10脳神経）



交感神経

胸椎や腰椎の圧迫や負荷は
交感神経の直接的なストレス
となり得る。





気圧変化と自律神経と頭痛

気圧変化をモニターする内耳
その内耳への気圧の負荷が上昇した時に
内耳神経や顔面神経、三叉神経などの脳神経
を介し、頭蓋骨内の髄膜にストレス負荷が
伝達することで、頭痛を起こすことがある。

気象病や低気圧症、低気圧不調と呼ばれる。